

平成26年3月期 決算説明会

I .経営の考え方

代表取締役社長
柘植 康英



東海旅客鉄道株式会社

平成26年4月28日 1

経営スタンス

■鉄道事業の「3つの力(風土)」

安全の力

- ◇安全に対する感性・モラル
- ◇投資
- ◇教育・訓練

技術力

- ◇小牧研究施設
- ◇鉄道現場の技術力
- ◇技術継承

人間の力

- ◇規律・モラル
- ◇連携・チームワーク
- ◇向上心

■経営基盤の強化

収益の拡大

- ◇安全安定輸送の確保を大前提
- ◇東海道新幹線・在来線の収益力
- ◇グループ事業収入の拡大

効率性の徹底

- ◇3世代の鉄道の効率的な運営
- ◇効率的・筋肉質な業務運営体制
- ◇投資・費用の効率性の追求

平成25年度の振り返り

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
安全・安定輸送の確保		東海道新幹線 大規模改修工事			
		東海道新幹線 脱線・逸脱防止対策 新幹線橋脚・在来線高架橋柱等耐震化 駅舎等の建替・耐震補強工事 津波対策			
輸送サービスの充実		N700A新製(31編成) N700系改造(80編成)			
(新幹線・在来線)		新大阪駅大規模改良(H19.4~)	「のぞみ」10本ダイヤ(H26.3~)		
		H26.3 引上線使用開始☆	速度向上に向けた準備		
			武豊線 電化工事 新型気動車の投入		
			☆H27春 武豊線電化開業		
営業施策の強化		増収に向けた営業施策の展開(京都・奈良等の観光資源を活かした各種キャンペーン等) (東海道新幹線開業50周年記念旅行商品の発売)			
超電導リニアによる中央新幹線計画		超電導リニアによる中央新幹線計画の推進			
		H25.9 準備書の公告☆ H25.8 山梨実験線走行試験再開☆	H26.3 知事意見☆	☆H26.4 評価書国土交通大臣送付 (環境影響評価書の公告、工事実施計画の認可申請等)	
鉄道以外の事業の着実な推進		名古屋駅「JRゲートタワー」計画の推進			H28.11(オフィス入居開始)☆ H29.4(タカシマヤ・ホテル開業)☆
海外プロジェクトへの取組み		対象路線における事業化に向けたマーケティング活動等			
		H26.4 国際高速鉄道協会(IHRA)設立☆☆ H26.4 台湾高鉄技術コンサルティング受託			

平成26年度の施策展開

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
安全・安定輸送の確保			東海道新幹線 大規模改修工事		
		東海道新幹線 脱線・逸脱防止対策	新幹線橋脚・在来線高架橋柱等耐震化	駅舎等の建替・耐震補強工事	津波対策
輸送サービスの充実			N700A新製(31編成)	N700系改造(80編成)	
(新幹線・在来線)		新大阪駅大規模改良(H19.4~)	「のぞみ」10本ダイヤ(H26.3~)		
		H26.3 引上線使用開始☆	速度向上に向けた準備		
			武豊線 電化工事	新型気動車の投入	
				☆H27春 武豊線電化開業	
営業施策の強化			増収に向けた営業施策の展開(京都・奈良等の観光資源を活かした各種キャンペーン等)		
			(東海道新幹線開業50周年記念旅行商品の発売)		
超電導リニアによる中央新幹線計画			超電導リニアによる中央新幹線計画の推進		
		H25.9 準備書の公告☆	H26.3 知事意見☆	☆H26.4 評価書国土交通大臣送付	
		H25.8 山梨実験線走行試験再開☆		(環境影響評価書の公告、工実施計画の認可申請等)	
鉄道以外の事業の着実な推進			名古屋駅「JRゲートタワー」計画の推進		
				H28.11(オフィス入居開始)☆	
				H29.4(タカシマヤ・ホテル開業)☆	
海外プロジェクトへの取組み			対象路線における事業化に向けたマーケティング活動等		
			H26.4 国際高速鉄道協会(IHRA)設立☆	☆H26.4 台湾高鉄技術コンサルティング受託	

平成26年3月期 決算説明会

Ⅱ.平成26年3月期 決算概要

常務執行役員 財務部長
藤井 秀則



東海旅客鉄道株式会社

平成26年4月28日 5

平成26年3月期 決算概要(連結)

(億円)

	25年3月期 実績 A	26年3月期 実績 B	増減 (B-A)
営業収益	15,853	16,525	+672
営業費用	11,591	11,579	△12
営業利益	4,261	4,946	+684
営業外損益	△980	△903	+76
経常利益	3,280	4,042	+761
当期純利益	1,999	2,556	+557

◆長期債務残高 (26年3月期末) 連結: 2兆3,708億円 年間縮減額 △2,691億円
(単体: 2兆3,517億円 年間縮減額 △2,632億円)

平成26年3月期 決算概要(連結・セグメント別)

(億円)

	25年3月期 実績 A	26年3月期 実績 B	増減 (B-A)
営業収益	15,853	16,525	+672
運輸業	12,430	12,761	+330
流通業	2,095	2,207	+112
不動産業	649	674	+24
その他	2,331	2,506	+174
営業費用	11,591	11,579	△12
営業利益	4,261	4,946	+684
運輸業	3,961	4,601	+639
流通業	72	82	+9
不動産業	127	138	+11
その他	94	105	+11

※セグメント別の内訳はセグメント間取引の相殺消去を行う前の数値です。内訳の合計値は営業収益・営業利益と一致しません。

平成26年3月期 決算概要(単体)

(億円)

	25年3月期 実績 A	26年3月期 実績 B	増減 (B-A)
営業収益 (運輸収入)	12,450 (11,691)	12,772 (12,148)	+321 (+457)
営業費用	8,459	8,163	△295
人件費	1,727	1,743	+16
物件費	4,161	3,486	△674
動力費	352	412	+60
修繕費	1,961	1,251	△709
業務費	1,847	1,822	△24
租税公課	333	329	△3
減価償却費	2,237	2,603	+366
営業利益	3,991	4,608	+617
経常利益	3,024	3,718	+693
当期純利益	1,878	2,403	+525

平成26年3月期 決算説明会

Ⅲ.平成27年3月期業績予想、主な施策展開

取締役 専務執行役員
総合企画本部長
宮澤 勝己



東海旅客鉄道株式会社

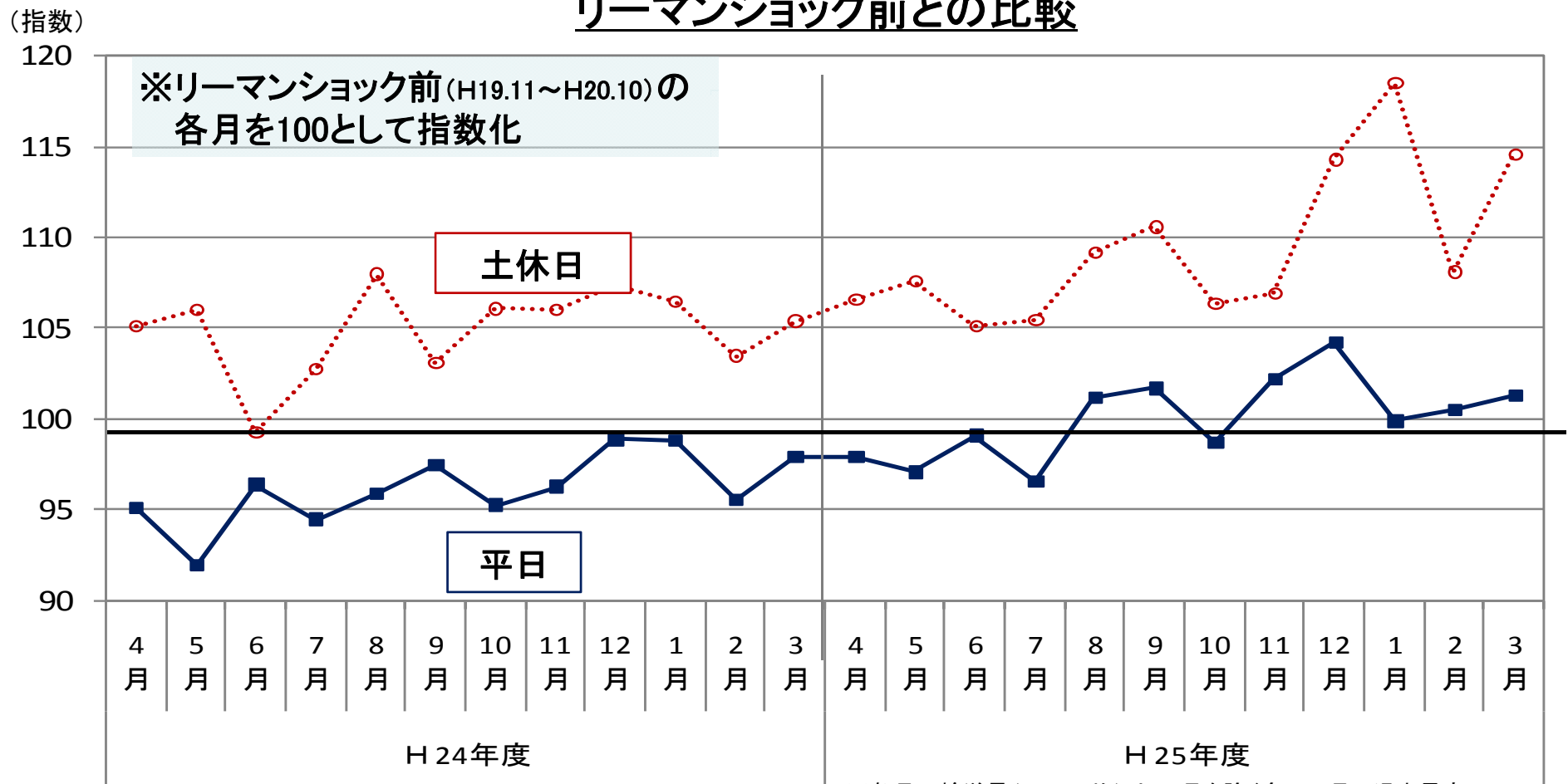
平成26年4月28日 9

東海道新幹線断面輸送量の推移

H25年度 断面輸送量(東京口)
前年比104%

- ・ 平日 (前年比104%)
- ・ 土休日 (前年比105%)

リーマンショック前との比較



※各月の輸送量(一日平均)は、7月を除く全ての月で過去最高

平成27年3月期 通期業績予想(単体)

	26年3月期 実績 A	27年3月期 予想 B	増減 (B-A)
営業収益 (運輸収入)	12,772 (12,148)	12,790 (12,148)	+17 (-)
営業費用	8,163	8,500	+336
人件費	1,743	1,770	+26
物件費	3,486	3,820	+333
動力費	412	470	+57
修繕費	1,251	1,460	+208
業務費	1,822	1,890	+67
租税公課	329	330	+0
減価償却費	2,603	2,580	△23
営業利益	4,608	4,290	△318
営業外損益	△890	△700	+190
経常利益	3,718	3,590	△128
当期純利益	2,403	2,510	+106

(億円)

平成27年3月期 通期業績予想(連結)

(億円)

	26年3月期 実績 A	27年3月期 予想 B	増減 (B-A)
営業収益	16,525	16,360	△165
運輸業	12,761	12,778	+16
流通業	2,207	2,233	+25
不動産業	674	651	△23
その他	2,506	2,347	△159
営業費用	11,579	11,770	+190
営業利益	4,946	4,590	△356
運輸業	4,601	4,281	△320
流通業	82	68	△14
不動産業	138	135	△3
その他	105	87	△18
営業外損益	△903	△710	+193
経常利益	4,042	3,880	△162
当期純利益	2,556	2,650	+93

◆長期債務縮減見込 (億円)

27年3月期		
	期末残高(見込)	縮減見込額
連結	22,468	△1,240
単体	22,317	△1,200

◆設備投資 (億円)

	26年3月期 (実績)	27年3月期 (計画)
連結	2,406	3,260
単体	2,290	3,010

※27年3月期 安全関連投資

【単体】1,880

※セグメント別の内訳はセグメント間取引の相殺消去を行う前の数値です。内訳の合計値は営業収益・営業利益と一致しません。

主な施策内容

◆安全・安定輸送の確保

<東海道新幹線 大規模改修工事>

- ・鋼橋、コンクリート橋、トンネルについて、ひび割れなどの変状の発生を抑止

当初3年間の計画(25年度～)		
合計	25年度	26年度(計画)
930億円	95億円 (うち損益 約70億円)	350億円 (うち損益 約250億円)

変状発生抑止対策



大規模改修工事
(コンクリート橋：変状発生抑止対策)

<地震対策>

- ・東海道新幹線 脱線・逸脱防止対策
- ・在来線 高架橋柱等耐震化 等

東海道新幹線 脱線防止ガード敷設(21年度～31年度)			
計画	24年度まで	25年度(実績)	26年度(計画)
596km	140km	73km	76km

累計
約290km
完了



東海道新幹線の脱線・逸脱防止対策

主な施策内容

◆輸送サービスの充実

- ・新型車両N700Aの投入及びN700系改造工事
- ・最高速度270km/hから285km/hへの速度向上に向けた諸準備
(平成27年春実施予定)

	全体計画	(累計編成数)				
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
N700A投入	31編成	6編成	13編成	19編成	25編成	31編成
N700系改造	80編成	—	32編成	69編成	80編成

※中央締結ブレーキディスクの採用によるブレーキ力の向上や、空気タンクの増設による車体傾斜区間の拡大等を実現した結果、速度向上が可能となりました。

◆営業施策の強化

- ・東海道新幹線開業50周年企画として、記念商品やお得な商品の発売
- ・京都・奈良等の恒久的な観光資源を活かした各種キャンペーン等



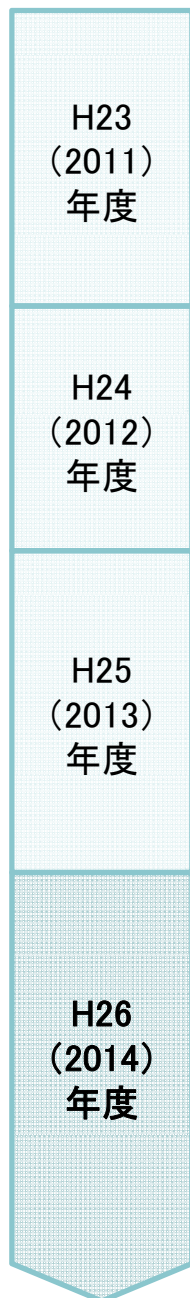
東海道新幹線開業50周年ロゴ



「そうだ 京都、行こう。」キャンペーン

中央新幹線計画の進捗

営業主体・建設主体指名、整備計画決定、建設指示（5月）



環境アセスメント

- ◀ 「配慮書」(6・8月公表)
- ◀ 「方法書」(9月公告)
方法書説明会
- ↑ 調査(猛禽類の2営巣期)
環境影響の予測
環境影響の評価
- ◀ 「準備書」(H25年9月公告)
準備書説明会(H25年9月～10月)
意見概要と事業者見解を送付(H25年11月)
知事意見(H26年3月)
- ◀ 「評価書」
国土交通大臣に送付(H26年4月23日)
国土交通大臣から意見
補正後、国土交通大臣等へ送付

工事実施計画認可申請

// 国土交通大臣の認可

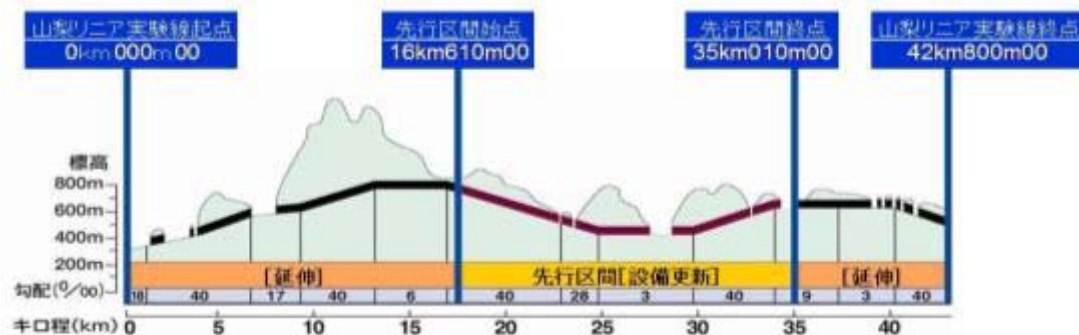
着工

超電導リニア技術のブラッシュアップ及びコストダウン

◆超電導リニア技術のブラッシュアップ及びコストダウンに引き続き取り組む。

- 営業線仕様の車両、設備による最長12両編成での長距離走行試験
- 車両や地上設備の営業運転に対応した保守体系の確立に向けた確認試験

◆「超電導リニア体験乗車」の諸準備を着実に進め、平成26年度内に実施。



山梨リニア実験線



新型車両L0系

平成26年3月期 決算説明会



東海旅客鉄道株式会社

平成26年4月28日

本資料に記載されている将来の計画や見込み数値等は、当社が現在入手可能な情報に基づく見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。潜在的なリスクや不確実性の例としては、経済動向や事業環境、消費動向、当社および子会社における他社との競合状況、法律や規制等の変更などが挙げられます。